

第50回特別展「3. 11 被災地の声をきく ―筑紫女学園大学 支援活動の10年―」

番号	品目	説明	形状		数	詳細/内容
			サイズ	向き		
1	パネル	はじめに	A1	縦	1	
2	パネル	タイトル	A2	横	1	
3~10	写真パネル	写真	A2	横	8	被災地の状況
第1部 東日本大震災 被害と復興状況						
11	パネル	案内板	A3	縦	1	
12	パネル	東日本大震災の概要	B2	縦	1	
13	パネル	東日本大震災被害状況	B2	縦	1	地図・解説文
14~15	写真パネル	被害状況・写真	B3	横	2	津波写真、避難所の様子
16	パネル	津波による原子力発電所事故	B2	縦	1	概要
17	パネル	避難指示地区の状況・解説文	B2	縦	1	地図・解説文
18~19	写真パネル	避難指示地区の状況・写真	B3	横	2	原子炉建屋への放水状況、立入禁止となった浪江町
第2部 筑紫女学園大学 被災地支援活動						
20	パネル	案内板	A3	縦	1	
21	パネル	キャプション	B5	横	1	
30	写真パネル	被災地支援活動の写真	B3	横	9	
31	パネル	活動の参加した学生の感想	A3	横	1	
第3部 被災地の声をきく						
32	パネル	案内板	A3	縦	1	
33	パネル	被災地共同調査	B2	縦	1	調査概要
38	文書・写真 パネル	原発事故で街を離れても人のご縁と心をつなぎ続ける(福島県浪江町)	A2	縦1、横4	5	プロフィール、インタビュー2、関連写真2
43	文書・写真 パネル	しっかり前を向いてみんなの分も生きていく(福島県南相馬市)	A2	縦1、横4	5	プロフィール、インタビュー2、関連写真2
48	文書・写真 パネル	コミュニティは命綱 だからこそ、顔が見える関係をつくりたい(宮城県仙台市)	A2	縦1、横4	5	プロフィール、インタビュー2、関連写真2
53	文書・写真 パネル	大川小はもう一度、命の大切さやよりよい学校のあり方を確かめる場所であるべきです(宮城県石巻市)	A2	縦1、横4	5	プロフィール、インタビュー2、関連写真2
58	文書・写真 パネル	震災は、忘れた頃にやってくるんじゃない 忘れる前にやってきます(宮城県名取市)	A2	縦1、横4	5	プロフィール、インタビュー2、関連写真2
63	文書・写真 パネル	自分たちの判断と行動力が危機を生き抜く力となる(岩手県釜石市)	A2	縦1、横4	5	プロフィール、インタビュー2、関連写真2
68	文書・写真 パネル	高齢化が進む団地のなかで、できるだけ人が集まってもらえる場をつくりたい(岩手県陸前高田市)	A2	縦1、横4	5	プロフィール、インタビュー2、関連写真2
73	文書・写真 パネル	震災直後より被災地を支援 筑紫女学園大学に同行し、活動をささげる(岩手県花巻市)	A2	縦1、横4	5	プロフィール、インタビュー2、関連写真2
78	文書・写真 パネル	再生への足掛かりをつくるその信念で走った10年でした(岩手県陸前高田市)	A2	縦1、横4	5	プロフィール、インタビュー2、関連写真2
79	パネル	活動報告	A1	縦	1	筑紫女学園大学 現代社会学部 栗山俊之さん

第50回特別展「3. 11 被災地の声をきく ―筑紫女学園大学 支援活動の10年―」

番号	品目	説明	形状		数	詳細/内容
			サイズ	向き		
関連展示 福岡で暮らす避難者の方々						
80	パネル	案内板	A3	縦	1	
81	パネル	震災から10年 今なお避難者4.2万人が各地で暮らす	B2	縦	1	
82	パネル	福岡で暮らす避難者の方々	B2	縦	1	
83～84	パネル	インタビュー:被災地に残った人も出ていった人も誰もがつらい思いをしてきた(宮城県から避難)	B2	縦	2	
85～86	パネル	インタビュー:原発事故は、私たち家族にとってほんとうに不条理な出来事でした(福島県から避難)	B2	縦	2	
87	パネル	自主避難という“選択”	B2	縦	1	
88	パネル	ふるさとへの思い	B2	縦	1	
89～90	パネル	おわりに	A1	縦	2	
91	写真パネル		B3	横	1	

【パネル等の枚数】

A1:4枚 A2:54枚 A3:5枚 B2:13枚 B3:14枚 B5:1枚

合計 91枚

【注意点】

・パネルはスチレンボードに紙出力した原稿を貼り付けています。耐久性が弱いため、展示箇所は室内に限ります。